

X自動投稿アプリ 操作マニュアル

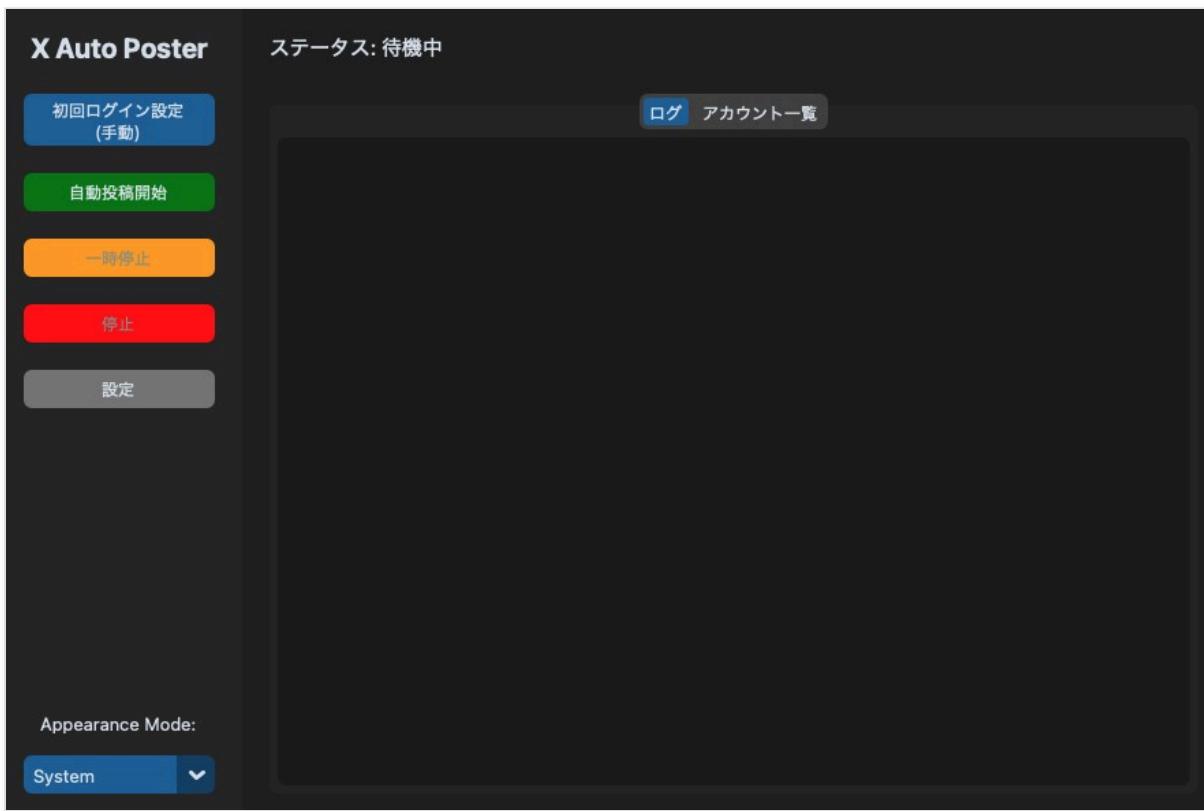
1. はじめに

本アプリは、設定されたX（旧Twitter）アカウントを使用して、自動的にポスト（ツイート）を行うデスクトップアプリケーションです。

注意: 本アプリを使用する際は、必ずインターネットに接続してください。

2. 画面構成

アプリを起動すると、以下のメイン画面が表示されます。



- サイドバー（左側）：操作ボタンが配置されています。
- ログタブ（右側）：動作ログが表示されます。
- アカウント一覧タブ（右側）：各アカウントの処理状況が表示されます。

3. 事前準備 (アカウントリストの作成)

アプリを動かすために、アカウント情報が書かれた `accounts.csv` というファイルを作成して、アプリと同じフォルダに入れる必要があります。

普段お使いの **Googleスプレッドシート** や **Excel** を使って簡単に作成できます。

手順 1: スプレッドシートでデータを作成

1. 新しいスプレッドシート（またはExcel）を開きます。

2. A1セルに `username`、B1セルに `password`と入力します（半角英数）。

3. 2行目以降に、使用したいアカウントの **ユーザー名（@以降）** と **パスワード** を入力していきます。

A1:username B1:password
2行目以降にアカウント情報

注意: 1行目の `username` と `password` はそのままで、変更しないでください。

手順 2: CSV形式でダウンロード

1. メニューの「ファイル」をクリックします。

2. 「ダウンロード」>「カンマ区切り形式 (.csv)」を選択します。

(Excelの場合は「名前を付けて保存」でファイルの種類を「CSV(コンマ区切り)」にします)

手順 3: ファイル名の変更と配置

1. ダウンロードしたファイルの名前を `accounts.csv` に変更します。

(`accounts` だけではなく、拡張子 `.csv` まで確認してください)

2. そのファイルを、このアプリ (`X_Auto_Poster`) が入っているフォルダと同じ場所に移動してください。

4. 初回設定（ログイン）

手順 1: サイドバーの 「初回ログイン設定 (手動)」 ボタンをクリックします。

手順 2: ブラウザが起動し、Xのログイン画面が表示されます。手動でログインを行ってください。

手順 3: ログインが完了し、ホーム画面が表示されると、アプリが自動的に検知してブラウザを閉じます。

* 全てのアカウントに対してこの操作を行ってください。

5. 自動投稿の実行

手順 1: サイドバーの 「自動投稿開始」 ボタンをクリックします（緑色のボタン）。

手順 2: 「アカウント一覧」 タブに切り替えると、進捗状況を確認できます。

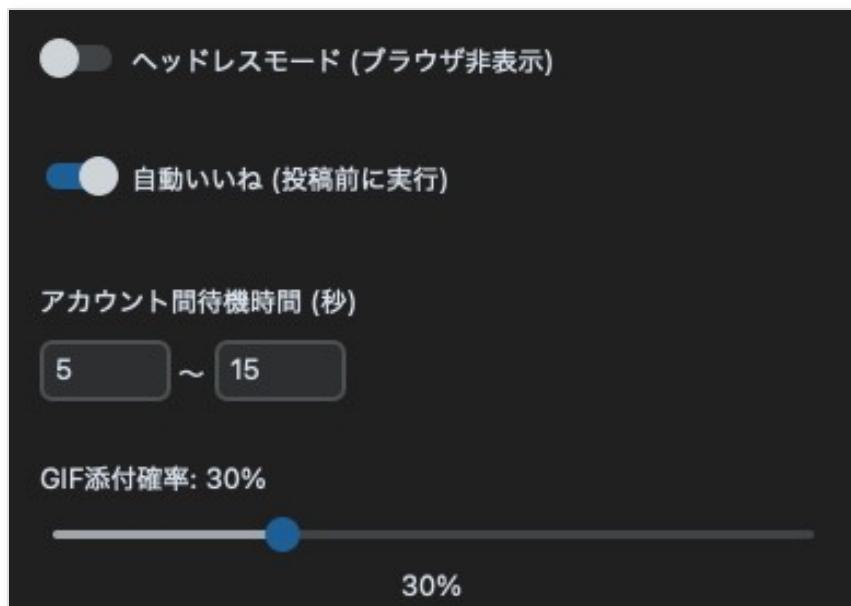


ステータスの色は以下を表します：

- 待機中: まだ処理が始まっていません。
- 処理中: 現在ログインまたは投稿を行っています。
- 完了: 投稿が正常に完了しました。
- エラー: 何らかの問題が発生しました（ログを確認してください）。

6. 設定の変更

サイドバーの「設定」ボタンをクリックすると、設定画面が開きます。



- **ヘッドレスモード:** ブラウザ画面を表示せずに実行する場合はONにします（動作確認時はOFF推奨）。
- **待機時間:** アカウント切り替え時の待機時間をランダムな範囲で設定します。
- **GIF添付確率:** 投稿にGIF画像を添付する確率を設定します（0%で添付なし）。
- **自動いいね:** 投稿前にタイムラインの投稿に「いいね」をする機能をON/OFFします。

7. 一時停止と終了

- **一時停止:** 処理を一時的に中断します。もう一度押すと再開します。
- **停止:** 現在のアカウント処理が終わり次第、完全に停止します。